

上尾市都市計画マスタープラン2020

令和 3 (2021) 年 3 月

(令和 6 (2024) 年 8 月 改定)

上尾市都市計画マスタープラン2020策定にあたって

市民の皆様には、日ごろから市政にご理解ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

上尾市は、昭和33年に埼玉県内19番目の市として誕生しました。市制施行当時は、約3万7千人ほどであった人口も、地理的条件の良さや国の高度経済成長政策も加わり、田園都市から工業都市、そして住宅都市へと一気に都市化が加速し、現在は、22万9千人を超え、首都圏にありながら自然と調和した埼玉県の中核をなす都市へと成長しました。

また、近年では、首都圏中央連絡自動車道や国道17号上尾バイパス線（上尾道路）の開通により大型商業施設や物流倉庫がオープンするとともに、高速埼玉中央道路（新大宮上尾道路）の延伸構想などによる新たな発展も期待されています。

しかし、本市の人口は、現時点では微増しておりますが、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、2020年代には減少し始めることが予測され、特に子どもの数が大きく減少する一方で、高齢者の増加は全国平均と比較しても大幅に増加することが見込まれています。

さらに、全国各地では、毎年のように大規模な自然災害が発生しており、本市でも令和元年台風第19号の被害に対して初めて災害救助法が適用されるなど、この発生確率の増加、異常気象の頻発・激甚化を踏まえたまちづくりを計画的に進めていく必要があります。

加えて、令和元年末の中国において、世界ではじめて感染が報告された新型コロナウイルス感染症は、瞬く間に全世界に拡大し、人々の生活や経済活動に甚大な影響を及ぼしています。

このような大きな転換期に当たり、新たな方針や考え方を柔軟に取り入れ、本市が持続可能なまちづくりを進めるための「上尾市都市計画マスタープラン2020」を策定いたしました。

本計画では、「暮らしの場として選ばれるまち」をまちづくりのテーマとして掲げました。定住を促し人口減少の抑制を図るとともに、コンパクトで利便性の高いまちづくりに取り組んでまいります。

また、頻発する自然災害や、感染症拡大に伴う新たな生活形態への移行など、まちづくりに対する新たな取り組みを進めるとともに、今後、本市が掲げる未来都市を実現するために、国が推進する各種施策や先進的な手法も積極的に活用していきたいと考えております。

結びに、これらの計画の実現にあたっては市民の皆さまの協力は欠かせません。これまで以上に、市民の皆さまとの協働・連携のもとに、上尾市都市計画マスタープラン2020の「暮らしの場として選ばれるまち」、第6次上尾市総合計画の「みんなでつくる みんなが輝くまち あげお」の実現に向け、ともに歩み、成長し、創造していくために、さらなるご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



令和3年3月

上尾市長 富士 稔

目 次

第1章	計画の概要	1
1.	改定の背景と目的	1
2.	計画の位置づけ.....	1
3.	対象区域と目標期間	2
4.	計画の構成.....	3
第2章	上尾市の現況特性とまちづくりの課題	5
1.	上尾市の都市特性	5
2.	都市を取り巻く社会的環境の変化.....	7
3.	上尾市都市計画マスタープラン 2010 策定以降の主な取り組み	10
4.	まちづくりの課題	11
第3章	基本構想	25
1.	まちづくりの基本方針	25
2.	将来展望人口.....	28
3.	将来都市構造.....	29
第4章	分野別方針	37
1.	土地利用方針.....	37
2.	都市施設の整備方針	44
3.	公共交通の整備方針	58
4.	都市防災の方針	60
第5章	地域別方針	67
○	地域区分の考え方	67
1.	上尾地域.....	69
2.	平方地域.....	75
3.	原市地域.....	81
4.	大石地域.....	87
5.	上平地域.....	93
6.	大谷地域.....	99
第6章	計画の推進方針	105
1.	計画推進の考え方	105
2.	推進の3つの方策	105
資料編		115
1.	計画の策定体系.....	115
2.	用語解説.....	116

